

(01) 不動産会社： 物件別の利益・稼働率管理、入金滞納リスト作成

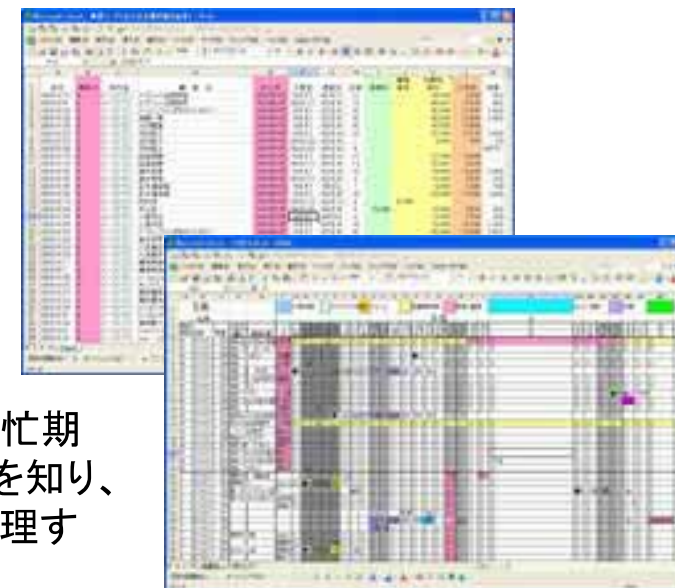
(ポイント) システム会社からは、システム再構築を提案されたが、システム化できない細かな業務は将来的にも発生するため、現場作業は、Excelを中心とし、自動化できる業務に着目することで、集計作業を改善。

(担当者の声) 効率化に何か良い方法はないかと思っていました。助かりました！



導入背景

業務の中心は、業界定番ソフト「賃貸革命」を活用していたが、契約物件の増大に伴い、本ソフトでは対応できない細かな管理(稼働率/請求/入金など)が増え、作業負荷が増大していった。カスタマイズに200万円もの投資は社内承認を得られず、従来どおり社内スタッフがExcelでの月次処理を行っていた。



入金チェック表&稼働率管理表

きっかけ

照合ミスや転記ミスが減らず、集計表の再確認の労力をはじめ、繁忙期の残業を軽減すべく効率手法を模索していたが、マクロ言語のを知り、基幹システムを変更することなく、サーバ上のExcelデータを自動処理する方法を取り入れることとなった。

導入後

基幹システムは継続利用し、Excelでしか行えない細かな集計業務を、「マクロ活用」により対応。これにより、事務スタッフ3人で行っていた毎月の「利益・稼働率管理」を**1人で行えるようになった**。その後、効率化が課題となっていた**経理部門でもマクロ導入を決定**し、オンラインバンキングからのcsvデータを元に、「請求・入金滞納」などの会計管理を効率化することができた。